

目 次

1. まえがき	1
2. 既往の施工時照査法に関する実態調査	1
2.1 調査方法	1
2.2 調査結果	1
3. 検討方法	2
3.1 施工時の安定性照査法	2
3.2 設計条件	2
3.3 施工時LCCの算出方法	5
3.4 破壊確率の算出方法	6
3.5 被災時費用の算出方法	7
4. 施工時LCCの算出	7
4.1 再現期間別の設計波高	7
4.2 施工時標準照査法による設計断面	7
4.3 信頼性指標とシステム破壊確率	10
4.4 初期建設費および被災時費用	11
4.5 施工時LCC	11
5. 施工時LCCに基づく目標安全性水準	11
5.1 最適安全性水準	11
5.2 重回帰分析	14
6. 部分係数の設定方法の提案	15
6.1 部分係数の設定方法	15
6.2 提案法と施工時標準照査法による設計結果の比較	15
7. まとめ	16
謝辞	16
参考文献	16
付録A 再現期間別の波高と水深波高比	17
付録B 信頼性指標と相関係数	22
付録C システム破壊確率とシステム信頼性指標	40
付録D 初期建設費と復旧費	49
付録E 施工時LCC曲線	55